



**まちを見て
まちを良く知る**

平成22年度市民見学会

10/26

10月26日(火)、『市民見学会』(市主催)が行われ、18人が市民活動センター『のぼりん』や『わくわくどきどきかめだわんパーク』などを見学しました。

当日は、時々雪が降る肌寒い天気でしたが、参加者は亀田記念公園の紅葉を楽しんだほか、市民活動センターで利用方法などの説明を受けながら施設を見学しました。また、カント・レラでは、市内で発掘された土器などを見学したほか、継続展示となっている登別の昔の写真を展示した『あの頃の登別』を参加者の皆さんは懐かしそうに眺めていました。



▲カント・レラで市内から出土した土器を眺める参加者

毎月抽選で登別と白石の特産品が当たる

12/1

登別・白石2011年カレンダーが完成

登別カレンダー実行委員会(仲川弘誓会長)は、登別と姉妹都市宮城県白石市の特産品が毎月抽選で当たる『登別・白石2011年カレンダー』をこのほど完成させ、12月1日から販売します。

このカレンダーは、昨年まで登別の特産品が抽選で当たる『登別カレンダー』として販売していたものを、今年は、姉妹都市である白石市中心市街地の賑わいづくり研究会と協力して発行し、両市で販売するものです。カレンダーは、アーニスや登別観光協会などで販売(一部1千円)しています。

**ふるさと登別を
懐かしむ**

11/13

第22回東京登別げんきかい総会

11月13日(土)、東京・羽田空港第1旅客ターミナルビル6階で『第22回東京登別げんきかい総会』(東京登別げんきかい主催)が開かれ、会員や関係者85人が出席しました。

同会は、首都圏在住の登別出身者や登別にゆかりのある皆さんにより、平成元年に設立されたもので、今年で22年目を迎えました。

情報交換会では、『日本の市町村』と題し、門山泰明副会長(総務省地域力創造審議官)が講話したほか、登別市からは、登別の街並みの移り変わりを映像で紹介し、出席者は、その映像を懐かしそうに見入っていました。

また、総会後の懇親会では、登別で水揚げされたサケやホッキ貝などを材料にした料理が振る舞われ、出席者はふるさとの味に舌鼓を打ちながら、登別の思い出話に花を咲かせていました。



▲出席者全員で踊る毎年恒例の『鬼踊り』